

け・ん・せ・つ
WOMAN



上田 須満子さん

SUMAKO UEDA ●株式会社吉富組 技術部主任技士

いくつになっても
チャレンジし続けられる
やりがいある仕事です

生コンやダンプに興味津々

私はもともとお茶と米作りをしている農家で、農閑期である冬の間だけアルバイトとしてこの仕事に携わっていたんです。農作業に慣れていたからなのか、建設業という仕事に「キツそうだな」というイメージもなく、むしろ生コンやダンプの運転に興味津々(笑)。やってみるとやっぱり面白いし、向いていたのかもしれないね。その後、50歳のときに資格を取って正社員になりました。

歳をとってからのチャレンジだったので、資格試験は本当に大変。経験もないし、機械の名前、管理の仕方と覚えることばかりなのに、本を閉じれば忘れてしまうし。けれど何度もチャレンジする時間もないので、「絶対に1回で合格する！」と気合いを入れ、4ヶ月間仕事後にみっちり勉強して、何とか合格できました。

責任もあるけど

人との繋がりが大切

正社員になってから平成15年まではずっと県営ほ場整備事業に携わり、地域の方々と話し合いをしながら、ほ場の区画整備の仕事をしています。埋めていた水路が大雨によって浮いてしまったり、規格通りに進めていても様々な理由からクレームが出たりと苦労もあり、責任の重さを感じることも度々ありましたが、整備が終わっ



たほ場に稲がたわわに実っているのを見ると本当に嬉しかったです。また、女性だから話しやすいのか、地域の人から直接私の方に相談を受けることもあり、仕事を通して人との繋がりを深められたことも、大きな喜びでした。

自分が楽しんでいれば

心も体も健康に

現在は現場の管理が仕事です。時には、作業の後、会社での書類作成などで夜遅くまでかかることもありますが、会社の人達の協力や家族の支えがあって、気負いせずに頑張れます。また、楽しく仕事をしているせいも、心も体も健康ですよ。夏の現場で働くときは

影もない日なたでの作業ですが、「日が照ると土がよく乾くから、作業が進んで良いわ」なんて思うぐらいなんです。

これからも
チャレンジは続けたい!

建設業の現場で女性が働くのは、大変なことも多いように見えますが、やる気さえあれば、こんなにも素晴らしいことはないです。奥深い仕事で勉強することがたくさんあり、世界も広がります。だから毎日充実してイキイキと過ごせるし、歳をとってもチャレンジし続けられる、素敵な仕事です。もし若い頃からこの仕事に携わることができたら、建築などもっと色々な資格をとってみたいかとも思います。今から出来る人は素晴らしいですよ。ぜひどんな女性にもチャレンジしてみてほしいです!

